



『心の土台』

教頭 中津真貴子

「したくてもしてはいけないこと、したくないことでもしなければいけない、したくなくてもする。これが私たちの忘れ物。したくなればしなくともいい、これが自由でいいと思われておりますが、本当はそうではない。本当の自由というのは、自分と戦っている姿なのです。」

これは、日本カトリック学校連合会元理事長シスター渡辺和子先生が、ある研究会で「現代の忘れ物」と題して講演をされた中でのお言葉です。そして、シスター渡辺のお母様が仰った言葉も続けています。

「私はあなたの夢を応援するわ。でも社会に出ると誰からも守ってもらえないし、いろいろな目に遭うこともある。その時に一つ一つ耐えること、その強さが必要なのです。だから母としていろいろと辛いことをさせたけれども、今までのことがあるから今の姿があるのよ。」

昨年5月から始まった中学校校舎建築工事も完成の時を迎えた。今月21日(土)には、聖母中生が参加して「落成式」が行われます。

この建築を例にして、2学期の終業式の中で校長先生が子どもたちにこんなお話をされました。
「建物を建てるには土台が大切です。私たちも同じで、生きていく上で、人と関わっていく中で大切な土台となることを学ぶのが小学校の時期です。」と。

そして、3学期の始業式の中でもまた改めてその話に触れられていきました。

子どもたちは日々の生活の中で「したくてもしてはいけないこと」「したくないけれどもしなければならないこと」に必ず出合います。それら一つ一つをどう乗り越えていくか、それが子どもたちの「心の土台」を培っています。土台は強くなければなりません。たとえ小さなことでも、子どもたちがそうした事柄に出合った時に私たち大人がどんな後押しの仕方をするかが実は何よりも大切なのだと改めて感じました。

1, 2年 総合『冬の信夫山探検』1/22(木)

1年担任 後藤由紀子

1月22日(木)に、1, 2年生で冬の信夫山へ出かけました。

「大寒波到来!」という中、天候に少々不安のある朝を迎えましたが、「神様のお恵み」としか言いようのない青空の下、存分に冬の信夫山を楽しむことができました。

6つの総合グループに分かれ、「雪像づくり」にも挑戦しました。次々に出来上がる雪だるまや雪ウサギ。それぞれのグループの個性が表れた雪像となりました。後半は自由遊びの時間を設け、思い思いに遊ぶ子どもたちの姿がありました。ふわふわの雪の上に寝転んだり、雪玉を作つて雪合戦をしたりと、元気いっぱいの1, 2年生でした。

春、夏、秋、冬と、四季の信夫山に触れ、季節の移りわりと共に様子を変える自然の姿を学ぶことができた信夫山学習でした。



グループでチャレンジ「雪像づくり」

まずは雪を集めて土台作り! カわいい雪だるまがたくさんできました! ハイ! チーズ!

第3回ベルマーク作業: ベルマーク委員会

《日 時》 2月21日(土) 10:00~11:30 学校側担当: 定方

《確 認》 * 今回の作業は2, 5年が担当です。

他学年で今年度の作業に欠席された方は、

今回の作業に参加して下さい。

*場所等詳しくは、後日配付のプリントでご確認下さい。

授業料の引き落とし: 事務室

《引き落とし日》 * 2月10日(火)

* 2, 3月分まとめての引き落としになります。

ご承知おき下さい。

【令和7年度 募金活動報告】

* 第1回募金額 R7.12.10~12.11...71,500円

* 第2回募金額 R8.1.14~1.15...56,650円

	送付先	金額
①	福島民友愛の事業団 (能登半島地震義援金含む)	20,000円
②	福島民報教育福祉事業団	20,000円
③	C.N.D アフリカの学校建設のため	15,000円
④	C.N.D 中米の子ども達の教育のため	15,000円
⑤	カトリック仙台司教区子ども助け合い	7,947円
⑥	カリタスジャパン	20,000円
⑦	日本ユニセフ協会	20,000円
⑧	聖地の子どもを支える会(カトリック関係)	10,000円

※振込手数料等 203円

今年度もご協力に感謝!! です

■1月14日と15日の二日間、第2回募金活動が行なわれました。この期間の金額は56,650円でした。昨年12月の第1回と合わせた額は128,150円になりました。

■今年度、右の表の通り、募金の送付先が決まりました。担当した宗教委員会から、1月30日(金)のお便りでもご報告させていただきました。ご家族皆様で取り組んでくださったご家庭もあったとのこと。保護者の皆様方の心温まるご協力に感謝いたします。

★おめでとうございます! ～福島市長表敬訪問 1/20(火)～

「ボンドのコニシ夏休み工作コンテスト」において、5年生の佐藤花乃子さんが「工作名人賞」(全国最優秀賞)を受賞し、その報告として福島市長への表敬訪問を行いました。

トイレットペーパーの芯を切つて接着剤で組み合わせた作品「折りたたみランプシェード」2~3ヶ月をかけて仕上げたとのこと。馬場市長から、「感動しました。やり切ったことを自信にしてください。」とのお言葉をいただきました。

*花乃子さんの作品は同コンクールHPから閲覧できます。



3年 総合・社会科『姉妹校 明治学園との交流』 1/29(木)

社会科 定方 一悦

オンライン会議アプリを使って、福岡県北九州市にある姉妹校の明治学園小学校の3年生と交流会を行いました。これは約10年ほど前から総合と社会科で行っているものです。今年度は、聖母小からは、英語の歌を歌ったり、「わらじ音頭」を紹介して一緒に踊ったり、福島市についてのクイズを出したりしました。また、明治学園小学校の子どもたちは、工場見学の様子や小倉城、市内の博物館などについて調べたことを、プレゼンテーションソフトを使って発表していました。北九州市内のカレー屋さんやうどん屋さんの紹介もあり、聖母小の子どもたちは、非常に興味をそそられたようです。質疑応答の時間では、互いの学校のことを質問しあったり市内の観光名所をたずねあったりして楽しそうに交流していました。

遠く離れた姉妹校の子どもたちと交流した貴重な体験となりました。



姉妹校のお友だちとの会話にニコニコ♪

少し緊張しながらも、楽しく英語の発表を行いました。